



オリジナルの日本酒を楽しむに酒米を収穫した

左党の夢へ稲刈り

酒造り楽しむ愛好者20人

日本酒を愛飲する人たちでつくる「新党日本酒」のメンバーと、松本市の寿台公民館で開かれた「利き酒講座」の受講生ら約20人はこのほど、安曇野市三郷温の水田で、酒米「美山錦」の稲刈りをした。5月中旬にみんなで手植えたもので、10月に仕込んで日本酒を造り、田植えから収穫まで手がけたオリジナルの味を楽しむ。

新党日本酒の党首で、

栽培した米で造った日本

講座の講師を務めた利き

酒を飲みたい」と言っ

酒師・吉村結城子さん

いたこともあり、宮坂さ

(30) 松本市寿台9

んの水田約10㍎を借り

が呼び掛けて、酒造りの

た。

苦労や酒文化にも理解を

田植え後は、宮坂さん

深めようと、初めて酒米

の妻・けさはるさん

作りに取り組んだ。今年

(77) や近所の人たちに

4月に亡くなった吉村さ

手伝ってもらい、メンバ

んの祖父・宮坂高連さん

1たちが草取りに汗を流

が生前、「いつか自分で

した。8月上旬までの天

耕作放棄地で菜の花

が特徴。調味料として

やヒマワリを栽培して

も使えるという。10月

候不順で作柄が心配されたが、「思っていた以上に出来は良かった」という。

収穫作業の後は、酒造りを依頼している笹井酒造(松本市島内)の笹井

稲刈りは経験者に教え

康夫さん(37)と懇談

てもらって一部を手刈り

し、どんな味わいの酒に

し、残りをコンバインで

するか話し合った。

収穫した。10年ぶりに稲

一連の取り組みは、新

刈りをした会社員・横山

党日本酒のホームページ

孝さん(47)は「自分た

(http://shinto

ちの作った米が日本酒に

unihonshu.web

なるなんて不思議な気が

.fc2.com/)で紹介

するが、飲むのが今から

介している。

楽しみ」と笑顔で話して

(山本章三)

nano花隊の菜種油が完成した

